

人吉高校同窓会 熊本支部会報

No. 2

2010年9月1日

発行 人吉高校同窓会
熊本支部

会長 兼城昌邦
編集責任 岩井宏一郎
熊本市神水1丁目12-15
☎096-384-2253

報告が各担当役員からなされ、全員一致で了承した。

総会終了後、第2部の講演会にうつり、熊本県立大学理事長 蓑茂寿太郎氏(人高19回卒)が「美活同源と地域力」と題して講演した。講演内容は3面に収録。



第3部では来賓による祝辞の後、懇親会にうつった。アトラクションとして九州ハワイアン協会のフラダンスチームが熱演し懇親会を盛り上げた。最後に市町村団体企業個人から提供された福引景品の抽選会が行われ、賑わった。

提供された市町村団体企業個人(順不同)は次のとおり。

久保田保義氏・青白磁・花鉢 前田一洋氏・著書 兼城昌山氏・色紙・書坂本福治氏・色紙・水墨画 森氏・博多座入場券 大黒屋・記念品 恒松酒造、大和一酒造、那須酒造、房の露酒造、織月酒造、林酒造、高橋酒造、球

二十一年総会を開催
第2部 蓑茂寿太郎氏が講演
人吉高校同窓会熊本支部の平成21年総会は9月12日午後5時30分から熊本市の鶴屋百貨店7階宴会場で開かれた。約100人が出席した。来賓として人吉高校校長 久多見久喜氏、教頭 池本一正氏、同窓会長川野惟精氏、副会長高山征治氏が出席した。総会では兼城会長が議長となり議事を進めた。20年度活動報告、同会計報告、監査報告、21年度活動計画

磨焼酎(株)・・・各社ブランド焼酎 人吉市・・・S.L.関連グッズ他 錦町・・・錦梨 多良木町・・・温泉券 湯前町・・・漬物 水上村・・・そば 相良村・・・お茶 五木村・・・お茶と焼酎 山江村・・・焼酎 球磨村・・・漬物他 あさぎり町・・・温泉券。

福多事務局長辞任

新事務局長に淵田氏

これまで事務局長を務めた福多修三氏が辞意を表明していたが、6月2日の役員会で正式に福田氏の辞任を了承し、新事務局長に淵田俊郎氏が就任した。

福多氏は昨年の末家庭の都合で辞意を常任理事会に申し出ていた。常任理事会ではその意思を尊重して辞任を了承、後任の人選を行い、規定により会長が淵田俊郎氏を指名した。

淵田氏は15回卒、住所は幸笛田3-1-32、(株)ツカサ創研社長を務める。

前会長河津龍介氏逝去

前人吉高校同窓会熊本支部会長の河津龍介氏が平成21年11月11日急性心不全のため熊本市の病院で逝去された。享年81才。人高同窓会熊本支部の2代目会長として、会の基礎作りに貢献された。

近親者による葬儀に続き11月26日熊本市の熊本ホテルキャッスルにおいてお別れの会が開かれた。人高同窓会熊本支部からも兼城会長はじめ多数の同窓生が参列し冥福を祈った。

旧制人吉中学17回卒。旧姓川野、元小国町長の河津寅雄氏の長女と結婚、河津姓となった。熊本大大学院医学研究科終了。熊本市市民病院産婦人科などを経て同病院長となる。退職後、1983年4月から2005年までテレビ熊本社長・会長を務める。勲3等旭日中綬章受章

広告

21 年度会計報告
収入の部

項目	金額	備考
年会費	95,000	95名×1,000
総参加費	527,000	男71 女24
雑収入	65,191	祝金他
小計	687,191	
前年度繰越金	248,930	
合計	936,121	

支出の部

項目	金額	備考
通信費	27,062	手場はお茶代
会議費	39,000	会場費
懇親会費	503,984	懇親会費
広報費	14,350	鶴屋日用品
事務その他	8,928	事務用品
その他	30,693	事務用品
合計	624,017	

残金	312,104	
次年度へ繰越	312,104	



画廊喫茶三点鐘による人吉高校同窓会展
が今年もパート1（7月1日～10日）、
パート2（7月21日～31日）に分けて開催
された。20日
には出品者や同
窓生が集まり会
費制の懇親会が
開かれ賑わった。
パート1出席者
厚地宣行（故）
五木綾子 犬童
又郎 犬童巳来
男 大柿了一
岡田鶴水 兼城

第2回人吉高校同窓会展

祝福し、歓談した。また、来年度の開催のため幹事を選出した。代表に坂口俊尚氏ほか上月裕美子、牛島寿三郎、中村満子、水野守の各氏を選んだ。



重なる度に、会場も華やかなり上る。訪れる方も多くなっている。当日は作品展会場に同級生28名が集まり、作品を鑑賞。その後下通り、青柳に会場を移して懇親会を開催した。それぞれの健康を

事務局長を辞任して 福多修三

人中、高女、人高、通しての同窓会活動は、当然のことながら縦の関係のひととの関係が深まったということです。高女時代の小松さん、人中の平井さん、河津さん、この同窓会を起した日高さん、等々あげればきりが無いほどである。ううばんぎやーな僕が務められたのも、全て、こんな先輩後輩の支えがあつたのである。あらためてお礼をもうしあげたい。ありがとうございます。

宜しく願いました 淵田俊郎

このたび事務局長を仰せつかりました。今まで、先輩の皆様が永年にわたり伝統ある人吉高校同窓会熊本支部の同窓会組織を築いてこられましたことに敬意を表し、力不足で不行き届きな点沢山あると思いますが、精一杯勤めさせていただきました。存じております。熊本に同窓生の皆さんが増えてきています。多くの同窓の皆さんに呼びかけて活性化に向けて楽しい、素晴らしい仲間作りができればと思っております。今後ともご指導御鞭達の間よろしくお願ひ申し上げます。

人高4回卒業作品展開催

熊本支部4回卒の皆さんでは、同級会を盛り上げるため11月11日11時から鶴屋百貨店8階ふれあいギャラリーで、人高4回卒業作品展を開催した。熊本在住者を中心に、関東、長崎、人吉からも4人が参加、総勢13人が絵画、俳画、写真、手芸、俳句など40点を展示した。今年で5回目となる。年を重ねる度に、

人高愛球会成績表

21年度の人高愛球会の定例ゴルフコンペが3回ほど開かれた。会を重ねる度に参加者が増え盛会となっている。事務局では更に会員拡大を呼びかけている。

第3回大会 12名参加（平成21年8月24日 阿蘇東急カントリークラブ）

- 優勝 宗像文夫
- 2位 古荘哲龍
- 3位 岩井宏一郎

第4回大会 17名参加（平成21年1月25日 熊本益城カントリークラブ）

- 優勝 平川道雄
- 2位 土山操
- 3位 宗像文夫

第5回大会 22名参加（平成22年4月15日 熊本益城カントリークラブ）

- 優勝 竹内克弘
- 2位 本郷亮一
- 3位 森和子

役員会便り

21年度の役員会は3回開かれていた。特に議論されたことは役員会の充実、若い会員の参加問題、財務体制の強化等である。役員数の増やして全卒業年、企業、団体の職場代表の役員を選出する。会報に広告を入れて、収入につなげる等が話し合われた。

編集後記

やっとなら2号目を発行することができたが、情報集めが大変です。天辰さんから4回卒の作品展の情報をいただきました。感謝します。今回から広告がはりました。これから紙面の充実を図りたいと思います。同窓生の活動に関する情報をお寄せください。

広告

「美活同源と地域力」講演会収録

荻茂寿太郎氏

ご紹介いただきました荻茂です。兼城会長はじめ準備いただいたみなさまにお礼を申し上げます。話題を提供するというところでお許しを頂きたいと思っております。3年半ほど前、それぞれの大学が、親方日の丸の経営から、みずから責任を持って経営することになりました。ご紹介いただきましたように、私は法人化されたこの熊本県立大学の理事長として着任いたしました。37年ぶりに熊本に帰ってきました。熊本県民、熊本市民となり、またこの同窓会の会員にもなつたしいです。今日は、「挨拶をしない」という兼城会長のご好意だと思っておりますので、大変僭越ではございますが、お話をさせていただきます。

今日の話は「美活同源と地域力」というテーマにさせていただきます。人吉高校を卒業して、当時の担任は会場の真ん中に座っておられる天辰先生でした。建築に進む予定で東京の大学を受験いたしました。甘く見ていましたので見事失敗して、一年浪人いたしました。その結果、建築は相当頑張っても厳しいと思われました。それで、それに近い分野で、誰もやらないことを考えて、東京農大に進みました。造園をえらびました。高校ではあまり勉強しなかったもので、頭にも、心にも余裕がありました。造園はとてもおもしろく、大学では一生懸命勉強しました。そのため外国に行く機会が多くなりました。ヨーロッパ、アメリカの殆どの国を回る事ができました。世界中を見ることができました。

日本で造園と言いますと、庭師か植木屋となります。そうではありませんので海外で学ぶしかなかった訳です。アメリカではセントラルパークという公園がニューヨークのど真ん中にあります。あの公園を設計した人を造園家と言っています。イギリスでは国土のガーデナーとっております。イギリスが美しいのはガーデナーがいるからと言われております。日本ではそうではありません。

熊本に来まして、不思議なところと思うのですが、高校はどこですかとよく聞かれる。今度の県立大学の理事長は、熊高、済々ではない人吉らしい、大学は東京農大の造園らしいということになりました。申し遅れましたが、東京農大の初代学長は横井時敬と言います。

学校のジェーンズの第一回目の教え子でしたので熊本と大変縁が深く、熊本の人も多く、熊本の大学で学んでいるような雰囲気がありました。先生たちも、熊本出身者ということ、一目置いてくれました。

帰ってきました。造園となりますと、ここでは、植木屋か庭師ですから、庭師ですと応えていました。しかし、私にとっては、阿蘇のカルデラも全部庭です、九州も庭です、日本の国土も庭ですと言っています。植木屋もそうです。軽四輪に脚立のイメージがあります。今、白川の拡幅のため大きな木を切る状況なっています。この木を切らないで立つままレベルを作つて移動させるといふようなことをするのが造園なのです。しかし、面倒なので、特に地方では、何か造園を上手く示す言葉が考えなくては行けないと思いましたが、もし私が熊本に來なかつたら考えなかつたと思えます。その言葉が「美活同源」という言葉です。

皆さんは、医食同源あるいは葉食同源という言葉をお聞きされたことがあると思います。食事をきちんと取らないと病気になるよ、ということですね。この言葉は広辞苑の第4版に始めて登場しています。1981年までは登場していません。私は冗談で、美活同源という言葉だねといつて皆さんが使つてくれたら、第9版か10版ぐらいで載るのではと言っています。同期の松尾君がこの美活同源をよく使つてくれていました。インターネットで引きますと、僕より彼の名前が先に出てまいります。今回のスポンサーになつている山江村の村長さんともよく使つてくださっています。まだ3人ですが同窓のよしみで是非使つていただきたいと思えます。

美活同源ということ、美しい地域は栄えるということ、汚いところが栄えるということ、これは無いという事です。40年前には休耕田はありませんでした。杉、松の木もきれいに打ちまわされていきました。農家の庭も綺麗でした。しかし今人吉球磨を歩いていみると休耕田はあるし、荒れた山が沢山あるし、集落には空き家があるし、草ぼうぼうの農家の庭があります。これは農村に元気が無いということ、美しさがあるという事は同じであるという結論になつた訳です。そのようなことが私は美活同源の手伝いをする仕事をしながら

ら、その一環として大学の経営を担当しております。

日本は世界に稀に見る異常な国です。人口1億2千万人の8割の人が都市に住んでおります。この都市の面積は国土の2割に過ぎません。残り8割の国土を2割の人達が管理しているわけですね。だから都市の過密問題と、農村の過疎問題が同時にあるという異常な国なっています。世界に例が無い国なのです。食糧自給率の問題もここにあります。そこでこの美活同源という思想、考え方をあらゆる職業の方が持つていただけると、未来に明るい兆しが見えてくるように思っています。いま、日本は少子高齢化の時代です。2割の人で8割の国土を維持していくことはできません。何らかの政策、アイデアが必要となります。

要するに、定住人口が少ない訳です。定住人口だけで活性化するのは難しいので、交流人口、行つたり来たりする人たちが活力を出そうというのが次の手です。これで成功している国が沢山あります。ドイツのロマンチック街道、カナダのメープル街道、スコットランドの湖水地方、オーストリアのチロル地方、これらの地域は交流人口によって活力を生み出しているわけですね。簡単に言えば観光です。ただ、観光といつて1泊して、何か旨い物を食べて、次の日は、また別のところへ行くという事は違います。ゆつたりとした交流のさせ方が必要です。交流のためには、美味しいものがなければならぬ、何か光るものが必要なのですね。という訳で、美活同源をやつてみたらと思うのです。

会長の挨拶にも有りましたが、青井さんが国宝になりました。青井さんはひとつも変わっていないが、人が来るようになり、友だちと話しました。お金が無くてよかつたねと。なまじお金を使つてあちこち修理したらこうはならなかつた。国宝になつたことで青井さんが相対的に光るようになった訳です。

再発見です。SLが走つて肥薩線が光つて見えるようになった。一方で田んぼは休耕田、周辺の山々は荒れ放題ではどうにもならない。周辺の地域が同時に光るように持つていかなければならない。

グリーンツーリズム、タウンツーリズム、ワーキングホリデー、あるいは、文化施設を使った交流など人吉球磨でも色々なタマが立ち上がっています。一つ一つの楽器の音は聞

こえますが、全体となつて、オーケストラの音にはなつていないのか疑問です。多様性がなければなりません。

会長の挨拶の中でこの同窓会がお酒を飲むだけではなく、絵の会をやるとか、色々な文化関係の活動が重要だと思えます。好きな事は人によつて違うわけですから、沢山の活動があつていいとおもいます。できるだけ沢山あつた方がいいと思えます。それによつて、いろんな人がその社会に関心を持つことになると思うのです。そのことは、日本の社会、熊本、球磨人吉にも言えることだと思えます。

大学の理事長を拝命して、大学は「地域に生き、世界に伸びる」というスローガンが必要であると提案して、皆さんの賛同をえまして、熊本という地域に皆さんと軸足を置いて、井の中の蛙になることなく飛び出せ熊本かも知れません。そのためにも自分の足元をきれいにして置かなければなりません。

美活同源という言葉提案させていただきましたので、あさぎり町に少しだけ土地があります。汚くしておく訳にはいかないものです。草刈が大変です。通いではとても維持できない。そこに定住しないと十分なことがやれない。とつくづく感じております。

現在、天草の大江の教会、崎津の教会、その周辺と、長崎の教会群と一体となつて、この地域を世界遺産にするために文化的景観の調査をやらせていただいています。鉄川与助という教会建築のパイオニアが建造しています。これらの教会を日本に導入された教会建築の価値という点で、世界遺産に登録できないかと考えているわけです。ところが、ユネスコの世界的な目で見ますと、どれも天草も長崎もバラックだと言う訳です。但し、日本に定着した文化的景観としての、価値は非常に高いでしょうということなのです。

そういう目で地域を見ていきますと、青井神社と肥薩線と人吉城のみではなく、全ての物が光つて見えてくるようになると思えます。地域の再発見がわれわれの使命だと思えます。人吉高校は多様な人材を輩出している、プライドの高い高校です。その同窓生がそれぞれのキャリアを元に、オーケストラを演奏すれば、この同窓会もまた立派なものになると思えます。ご清聴有難うございました。